

特定非営利活動法人 きなはれ

第 19 回 通常総会 議案書

日時：2025 年 6 月 28 日（土）9：45～11：45

開催方法：会場開催（対面開催）

開催場所：白石区民センター 集会室 A・B （白石区役所 5 階）

<総会次第>

1. 開会
2. 議長・議事録署名人選出
3. 書面評決書類確認 定足数確認
4. 報告事項
 - 第 1 号議案 2024 年度事業報告および収支決算報告
 - 第 2 号議案 2024 年度監査報告
 - 審議事項
 - 第 3 号議案 2025 年度事業計画（案）および収支予算（案）
 - 参考資料 役員名簿添付
5. 議長解任
6. 各事業所より活動発表
7. 閉会

総会終了後 コミュニティキッチンふいーるにて交流会

きなはれ 本部事業

1. 総会

2024年6月3日(土) 白石区民センターにて対面形式で実施しました。

2. 理事会・虐待、身体拘束防止委員会 開催

理事会:2024年6月28日・8月25日・2025年1月22日・6月3日 計4回

虐待、身体拘束防止委員会:2024年6月28日、2025年6月3日

3. 職員研修会 本部主催

1) 法人主催研修 新任者研修を新任者採用時に行いました。【本部オンライン計4回】

2) 法人主催 虐待防止研修 2024年11月1日【かでの2・7】

3) 「虐待防止・身体拘束・差別解消法等研修」

講師:社会福祉法人鷹栖共生会 相談支援センターあいびい センター長 三瓶 章史

4. 職員に関して

<採用>

とねっと:正職員2名(2025.2月)

サビ管:パート1名(2025.1月)

<退職>

とねっと:正職員1名(2024.5月)自己都合退職

5. 新規事業開設準備

2025(令和7)年10月開設予定 就労選択支援事業について準備委員会を設置し検討しました。

(2025年度継続実施)

北海道サービス管理責任者等研修 事業

集合研修、ハイブリッド形式、オンライン形式の3種類で実施しました。

総受講生は2,330名でした。

開催月	開催内容(人数)
2024(R6) 4月	基礎(74)・実践(80)
2024(R6) 5月	実践(73)・就労(51)
2024(R6) 6月	実践(107)・更新(69)
2024(R6) 7月	基礎(147)・実践(116)
2024(R6) 8月	実践(113)・更新(73)
2024(R6) 9月	基礎(164)・実践(131)
2024(R6) 10月	基礎(95)・更新(111)
2024(R6) 11月	基礎(75)・実践(115)・意思決定(57)
2024(R6) 12月	基礎(82)・更新(74)
2025(R7) 1月	基礎(116)・実践(118)
2025(R7) 2月	実践(71)・更新(72)
2025(R7) 3月	基礎(112)・更新(34)

相談支援従事者 サビ児管向け研修 計 6回 受講生総計 929名

2024(R6)年 5月	215名
2024(R6)年 7月	109名
2024(R6)年 9月	162名
2024(R6)年 11月	111名
2025(R7)1月	196名
2025(R7)3月	136名

ヨベル 就労継続支援B型事業

【重点目標に対する実践】

A. 利用者ひとりひとりの障がい特性、実情にあったきめ細かな支援を行います。

⇒ヨベルを利用する方の目的や環境は一般就労希望者から高齢期に向けての生活安定まで様々です。その背景を理解し、その実情に合った支援を心がけ行いました。

B. 関係機関と連携した就労支援・生活支援を行います。

⇒利用する方が関係している相談事業所、病院、グループホームなどと連携して支援を行いました。

C. 「うれし部(仕事)」「楽し部(余暇活動)」「コミュニケーションプログラム」の活動を行います。

⇒作業、生活・余暇支援プログラム、コミュニケーションプログラムなどを行いました。

D. 地域住民との触れ合いの場として café ヨベル、町内会活動を含めた地域活動を行います。

⇒作業としてのカフェヨベル運営、町内活動、地域活性化のための祭り参加、JR白石駅宿根草花壇整理など、地域住民とともに活動を行いました。

E 定期的に勉強会を開き、スタッフの支援力を向上させます。

⇒法人、事業所から指定した研修会、スタッフ個人で資質向上のために参加した研修会などに参加しました。事業所として改めて勉強会などの開催はできませんでしたが、日々の支援の振り返りを含め支援会議等でスタッフの支援力の向上に取り組みました。

E. 1日平均通所利用者数を増やし、経営の安定化を図り、安全・安心な運営を行います。

⇒昨年度は退所される方が多かったため、平均通所利用者の増加にはなりませんでしたが、見学者や体験者の受け入れなど、次年度につながる活動を行いました。また、報酬改正もあって、1日利用単価が上がったことにより、大幅な赤字は解消されました。

【運営体制と支援】

1. 事業体制・職員体制

主事業所:本通4丁目 ヨベル 従たる事業所:café ヨベル(ヨベル白石まちづくりハウス)の二か所で運営を行いました。職員体制は、所長・サービス管理責任者兼務1名、生活支援員1名、職業指導員1名、パート職員3名(1名事務兼務、1名サビ児管担当兼務)。

2. 利用者実績

項目	2023(R5)年度	2024年度	備考
定員	20名	20名	増減なし
登録者数	21名	19名	2025年3月末現在
開所日数	270日	266日	前年度減
延べ利用者数	3,160名	2,996名	前年度現
平均利用者数(名/日)	11.8名	11.3名	土曜を含む実績・他事業所併用1名
見学者数	6名	17名	前年度増
新規登録者数	5名	6名	見学のうち35%が利用に結びつく
退所者数	4名	9名	退所理由:他事業所利用・入院、1年のうちに新規・退所同時の方2名

様々な理由により対処する方が多い1年でした。見学者、利用者は前年度を上回りました。

3.うれし部活動(仕事面)

事業所の内外で仕事を行いました。地域の方々とつながり、利用者の可能性を広げることに努めました。

- ① 法人支援の作業(広報誌作成、HP 更新・サビ管研修会資料作成・サビ管研修会場清掃等)
- ② 事業所内作業として企業等からの請負作業, 印刷
- ③ 事業所外作業としてJR白石駅前花壇の美化
- ④ ヨベル白石まちづくりハウスにて カフェ事業。
- ⑤ 自主製品制作(木工製品、手工芸製品、ダンピー(生ごみたい肥化セット))

4. 就労支援

- ① 将来的に一般就労を望む利用者に対し、就労プログラム(はたらくらす)を行い、働くことについて考えました。

5. 生活支援

- ① 病気や障がいにより生活に困難さを感じている利用者には、面接・訪問・同行などの支援を行いました。
- ② 必要に応じて家族面談や医療機関・相談支援事業所等とのケース会議を持ち、情報の共有, 役割の確認を通して支援体制を充実しました。

6. プログラム

- ① コミュニティミーティング: 毎週金曜日 午前中
- ② 集団精神療法を活用したグループ運営を取入れました。若手の会・はたらくらす
- ③ たのし部活動: 簡単料理教室、簡単お菓子教室、外出プログラム 等 一人一人のやりたい、楽しみたいを大切に少人数での余暇活動を開催しました。
 - ④ 事業所の全体行事として、歓迎会、クリスマス会、などを利用者とともに企画し開催しました。
 - ⑤ 利用者希望により体験してみたいことなど施設見学も含め実施しました。

7. 地域との関わり

白石区ふるさと祭・共栄第一町内会夏祭り、JR 白石駅 宿根草手入れ(4-11 月)を実施しました。

8. 職員研修

JCネット ジョブコーチ養成研修、自立支援協議会白石地域部会等外部研修、法人内研修 など 随時 職員の資質向上に努めました。

9. 啓発

大学、専門学校より実習生、白石区内中学生(白石でっち奉公)、一般よりボランティアを受け入れました。

就業・生活応援プラザ とねっと 運営事業

〈事業計画〉

2024年度の就業・生活応援プラザとねっとは、就業・生活支援と就業継続支援を中心に活動を展開し、障がいのある方の支援を展開します。また、拠点事業として札幌市内の就業・生活相談事業所(就業・生活支援センター一合)の取りまとめや札幌市自立支援協議会就労支援推進部会の運営委員・事務局として研修や情報の共有化等を行いました。

さらに、障がいのある方の交流スペース「わーくカフェ ジョイン」にて働く障がいのある方の交流促進の活動展開し、「札幌市就業体験事業」の活動も進めました。

〈重点事項〉

2024年度 就業・生活応援プラザとねっとは以下の重点事項を基に活動をおこないました。

- ① 就業・生活相談事業では常に相談者の立場に立ち、また相談が円滑に進むように支援を行いました。
- ② ジョブサポーター事業においては、合理的配慮、障害者虐待防止を意識しつつ企業と、相談者それぞれの支援に立った支援を行いました。
- ③ 生活支援に関しては、制度を活用した支援のみではなく、直接的な支援も意識・行動していきました。
- ④ わーくかふえジョイン活動を展開し、多くのメンバーが活用でき、充実した就業生活が営めるよう企画していきました。
- ⑤ 札幌市自立支援協議会就労支援推進部会の事務局として会が円滑に進むよう努めました。

〈職員体制〉

2024年度職員体制に関しましては、8名(センター長1名・就労・生活支援員3名・プロモーター1名・ジョブサポーター2名、事務補助員1名)体制で行いました。

〈就労支援事業〉

2024年度は①就業者個々人の課題に応じた就労支援、②就業継続のための支援、③他機関と連携した就労・相談支援を行っていきます。また、支援にあたっては、合理的配慮、差別禁止法・虐待防止法を意識し、企業・相談者両方の視点に立って支援を行いました。

〈就労支援ネットワーク構築〉

ネットワーク構築では、「札幌市自立支援協議会就労支援推進部会」の活動を中心に、会場開催、zoomを活用した研修、会議を行いました。

札幌市自立支援協議会就労支援推進部会定例会(5月10日 会場:かでの2・7)

札幌市自立支援協議会就労支援推進部会、NPO 法人ジョブコーチネットワーク共催「JC-NET ジョブコーチ養成研修 in 札幌」:基礎講座(8月17日、18日 zoom)、実践講座(10月10日-12日:札幌市産業振興センター)

その他、札幌市自立支援協議会就労支援推進部会運営委員会、札幌市就業・生活相談事業連絡協議会の定期開催

<生活支援事業>

2024 年度も、昨年と同様、関係機関と連携しながら、各種年金申請への動向や生活保護課への同行等、登録者への直接的な生活支援を継続して行いました。

<相談支援状況>

新規登録者:31名、抹消:51名

就職者:37名 離職:3名

新規相談:193件 新規面談相談:127件 新規ジョブポーター相談:11件

求職に関する相談、支援:1310件、職場実習に関する相談、支援:49件、職場定着に関する相談、支援:957件、生活に関する相談、支援:549件、その他相談、支援:131件、ジョブサポーターに関わる支援:233件

就労系サービス利用数:15件 内自法人:2件

<就業・体験事業>

2024 年度の就業体験事業に関しましては、前年度件数が上回るよう、福祉事業所に広報を周知し、また実習企業の数も増えるように、企業開拓等も含め行いました。なお 2024 年度就業体験事業の結果は以下になります。

登録企業数						
実績			年度目標	達成率	前年度実績	進捗率
4月～9月	10月～3月	年度累計				
28	0	28	26	107.7	24	116.7
新規登録企業数						
実績			年度目標	達成率	前年度実績	進捗率
4月～9月	10月～3月	年度累計				
7	0	7	5	140.0	3	233.3
就業体験希望届数					前年度実績	進捗率
実績						
4月～9月	10月～3月	年度累計	50	84.0		
24	18	42				
就業体験実習者数						
実績			年度目標	達成率	前年度実績	進捗率
4月～9月	10月～3月	年度累計				
12	25	37	44	84.1	41	90.2
就業体験受入企業数						

実績			前年度実績	進捗率
4月～9月	10月～3月	年度累計		
10	5	15	14	107.1

<研究事業>

2024年度に関しては、当法人が事務局となり、厚生労働省就労選択支援モデル事業を札幌、江別、函館、小樽、釧路、帯広の地域を対象に行い、厚生労働省に事業の報告を行うとともに、東京で開催された m での事業報告会に参加をし、報告を行ってきました。

<地域活動支援事業(わーくカフェ ジョイン運営)>

2024年度も昨年と同様、働く障がい者同士の交流の促進、当事者による当事者への支援を促進するための場としてわーくカフェジョインの運営を行いました。ジョインで行われたイベントに関しては以下に記載します。

4月	歓送迎会、週末茶話会
5月	お花見、週末茶話会、けしごむハンコづくり
6月	青少年科学館、ノースサファリサッポロ
7月	さくらんぼ狩り、料理教室、納涼会、水木しげるの百鬼夜行
8月	ファイターズ野球観戦、「鳥獣戯画」展、ボーリング
9月	大倉山ジャンプ競技場見学、開拓の村、千歳鶴酒ミュージアムとスカイランチ
10月	旭山動物園、陶芸、芸術の森謎解きイベント
11月	円山動物園とスタンプラリー、ボーリング、白い恋人パークイルミネーション、カラオケ、忘年会
12月	クリスマス会、年末詣、
1月	餅つき、中央スタンプラリーとカフェ
2月	雪まつりと夜景、千歳鶴酒ミュージアムとスカイランチ
3月	調理教室(中止)、防災センターとカフェ巡り

ジョイン開所日数:215日 利用人数合計:1090人

白石障がい者就労センタースカイ運営

2024年度スカイは、障害者総合支援法に基づき就労移行支援、就労継続B型事業、就労定着支援事業を継続して実施いたしました。

<2024年度の所感>

人員体制が変わり、気持ち新たな一年となりましたが、経験や力量不足を実感する反省や課題の多い一年でもありました。現状を見つめ、原点に回帰し、真摯に2025年度の取り組みに繋げていきたいと考えます。

1. 職員体制(2024年3月末)

職員 11名 (常勤正職員6名・契約職員2名・パート3名 うち1名本部兼任)

2. 利用者状況 3月末現在の状況

項目	実人数		備考
	移行支援	B型支援	
登録者数	8名	10名	精神、発達、身体、知的 など
新規登録者	3名	3名	2023年度新規登録者(見学5名・学校卒1名)
B⇒移行		2名	Bから移行への転籍
移行⇒B		0名	移行からBへの転籍
退職後再利用	1名	0名	職場を退職し、スカイでの通所再開
退所者	4名	2名	就職以外(他事業所・自宅)
見学者		25名	内体験者 8名 新規登録者 4名
就職者(一般)	5名	0名	
就職者(A型)	0名	0名	
就職者(B型)	0名	1名	他事業所へ

<訓練等給付非対象者の実習受入れ>

2名(休業中等の在籍のある方)

<就業者の定着状況> ※A型を除く

2012年4月～2024年度末 就職者数80名内2025年3月末現在同一企業での就職継続者数29名

直近:2024年4月～2025年3月末就職者数4名 内2025年3月末現在就業者 4名 定着率100%

<平均利用者人数> (1日当たりの平均実利用人数：2024年度 目標 移行 10名 B 6名)
1日当たりの平均実利用者数実績：移行 7.5名(達成率 75%) B 3.9名(達成率 65%)

<特別支援学校からの実習>

豊明高等支援学校・みなみの杜高等支援学校・小樽高等支援学校

3. 開所日・開所時間

*スカイ開所日 : 2024年4月1日~2025年3月31日 月~土 9:00-18:00

水曜 半日 ミーティング、プログラム、レクリエーション等

*コミュニティキッチンふいーる 営業時間：2024年4月1日 ~2025年3月31日 月~土
11:30~16:00

4. 事業内容

<就労支援>

A. 事業所内での就労に向けた訓練

1. コミュニティキッチンふいーる : 厨房作業、フロア作業、配膳作業、清掃作業など。
2. 雑務・下請 : わらく堂等からの箱折等軽作業、ふあみくるボード製作、制服アイロンかけ、つまみ細工づくり・店内装飾制作など。
3. 事務チーム : ふいーる売上管理、メンバー給与管理、各種アンケート集計受注、サービス管理責任者研修関連の事務、就業体験事業報告書作成など。
4. その他 地域活動

白石ネットでの宿根草作業(花壇の手入れ)に継続参加。白石区ふるさと祭り、やまびこ祭りへの出店参加。

B. 各種プログラム

1. 就労関連プログラム 隔月1回 水曜日 10:00-11:30
2. ふいーる向上に向けた会議 月1回 10:00-11:00
3. 軽やか体操 金曜日 13:30-15:00
4. コミュニティミーティング 毎月第4水曜日(集団精神療法を意識した実施)

C. 個別支援計画・アセスメント・モニタリング

1. スケジュールを立てて個別支援計画・アセスメント・モニタリングが行いました。
2. B型アセスメント、就労アセスメント(短期)を行いました。

D. 施設外支援・就労、企業実習

白石区役所食堂(食器洗浄)実習

ベースクリエート(パンの仕分け)実習

個別メンバーに対応した実習

就労後支援

個別面談・職場訪問、職場調整、電話相談、来所相談、関係機関とのケース会議等

F. 連携

必要に応じて、各関係機関と共に 会議・支援を行いました。

<生活支援>

個別に必要なに応じて生活支援を行いました。

障害年金申請相談、生活保護課・保健福祉課同行、診察同行、家庭訪問、後片付け 等

<地域活動>

白石ふるさと祭り・やまびこ祭り 出店

<啓発>

大学講義：札幌医科大学（看護、作業療法）・北海道大学（看護）・北海道医療大学（看護）

実習生受入：札幌医科大学（看護・作業療法）

<職員研修>

サービス管理責任者研修

JC - net 主催の養成研修

自立支援協議会開催研修

法人内研修

<参考資料>

コミュニティキッチンふいーるの営業について

（2024年度 来客者 1887名 開店日 217日（貸切 11・出張販売 5） 平均来店者数 8.7名 弁当 903食 おせち 55セット）

（2023年度 来客者 2200名 開店日 235日 平均来店者数 9名 弁当 727食 おせち 60セット）

（2022年度 来客者 1850名 開店日 230日 平均来店者数 8名 弁当 617食 おせち 60セット）

（2021年度 来客者 1641名 開店日 241日 平均来店者数 7名 弁当 620食 おせち 70セット）

5. 行事報告

月	スカイ レク等行事	ふいーる開店日数	ご来店者数
4月	2024年度 支援説明会	17日	163名様
5月	2024年度 ふいーる説明会	18日	152名様
6月		20日	204名様
7月	ふるさと祭り 出店	20日	170名様
8月	やまびこ祭り 出店	18日	110名様
9月		16日	167名様
10月		19日	143名様
11月		17日	149名様
12月	おせち作成	15日	154名様
1月		17日	148名様
182月		18日	172名様
3月	職員送別会	21日	155名様

						スカイ				
法人全体		本部	サビ管決算額	ヨベル	とねっと	スカイ全体	スカイ移行	スカイB	スカイ定着	
科目	決算2	決算2	決算2	決算2	決算2	スカイ全決算額	決算2	決算2	決算2	
収入の部	委託金収入	30,043,000	0	0	0	30,043,000	0	0	0	0
	補助金収入	6,529,000	0	0	0	6,529,000	0	0	0	0
	総合支援法支援費収入	63,158,263	0	0	24,034,334	0	39,123,929	29,673,609	7,066,780	2,383,540
	利用者負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	作業収入	16,091,979	0	0	9,486,864	0	6,605,115	4,623,585	1,981,530	0
	受講料収入	55,329,500	0	55,329,500	0	0	0	0	0	0
	会費収入	85,000	85,000	0	0	0	0	0	0	0
	助成金収入	19,000	0	0	0	19,000	0	0	0	0
	寄付金(謝礼金)収入	516,833	28,000	0	248,810	210,273	29,750	21,625	8,125	0
	雑収入	120,664	826	7,820	280	108,208	3,530	3,485	45	0
	固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	171,893,239	113,826	55,337,320	33,770,288	36,909,481	45,762,324	34,322,304	9,056,480	2,383,540
	0									
支出の部	職員給与	61,376,092	0	5,501,247	13,500,313	20,444,598	21,929,934	14,587,345	6,251,716	1,090,873
	職員手当	13,462,580	0	1,747,157	2,582,559	4,508,477	4,624,387	3,237,071	1,387,316	0
	報償費支援	280,953	0	0	223,265	0	57,688	40,382	17,306	0
	報酬	15,361,998	27,795	14,886,203	0	448,000	0	0	0	0
	共済費	12,288,328	0	785,406	2,525,175	4,348,989	4,628,758	3,193,163	1,368,499	67,096
	福利厚生費	482,003	0	25,133	194,621	90,959	171,290	119,903	51,387	0
	人件費計	103,251,954	27,795	22,945,146	19,025,933	29,841,023	31,412,057	21,177,864	9,076,224	1,157,969
	広告宣伝費	2,149,231	8,090	0	384,677	1,244,449	512,015	358,410	153,605	0
	業務委託費	13,020,136	835,500	10,608,684	421,144	224,400	930,408	651,284	279,124	0
	日用消耗費	455,775	0	7,723	0	122,085	325,967	228,179	97,788	0
	教養娯楽費	198,740	0	0	0	0	198,740	139,118	59,622	0
	旅費交通支援	2,639,023	4,200	437,823	602,800	906,550	687,650	481,355	206,295	0
	車両費	765,366	0	32,109	0	345,410	387,847	271,493	116,354	0
	作業関連支出費	11,771,790	0	0	6,775,509	0	4,996,281	3,515,346	1,480,935	0
	通信運搬費	4,058,414	7,720	2,610,924	349,340	573,688	516,742	361,720	155,022	0
	什器備品費	296,605	0	197,780	0	98,825	0	0	0	0
	修繕費	741,840	0	0	48,400	12,100	681,340	476,938	204,402	0
	水道光熱費	2,936,413	0	0	403,308	248,860	2,284,245	1,598,975	685,270	0
	印刷製本費	1,483,808	0	161,634	687,576	201,055	433,543	303,484	130,059	0
	賃借料	5,365,200	0	396,000	3,000,000	1,969,200	0	0	0	0
	保険料	842,980	0	148,940	247,740	242,730	203,570	142,499	61,071	0
	負担金	403,827	19,500	191,511	78,616	85,000	29,200	20,440	8,760	0
	租税公課	6,912,100	5,995,200	12,300	51,000	11,400	842,200	589,540	252,660	0
	研修費	2,039,990	15,060	1,249,416	107,962	298,035	369,517	258,661	110,856	0
	支払手数料	369,998	66,738	157,075	26,847	10,880	108,458	75,921	32,537	0
	事務消耗品費	851,073	38,500	596,847	0	146,437	69,289	48,502	20,787	0
	札幌市補助事業費(ジョイン)	632,143	0	0	0	632,143	0	0	0	0
	就業体験事業	356,304	0	0	0	356,304	0	0	0	0
	減価償却分	5,253,187	706,821	788,704	1,755,433	288,545	1,713,684	1,199,579	514,105	0
	支払利息	1,484,176	1,484,176	0	0	0	0	0	0	0
雑費	40,032	0	0	1,500	22,440	16,092	11,264	4,828	0	
事業費計	65,068,151	9,181,505	17,597,470	14,941,852	8,040,536	15,306,788	10,732,708	4,574,080	0	
小計	168,320,105	9,209,300	40,542,616	33,967,785	37,881,559	46,718,845	31,910,572	13,650,304	1,157,969	
当期正味財産増加額	3,573,134	-9,095,474	14,794,704	-197,497	-972,078	-956,521	2,411,732	-4,593,824	1,225,571	
前期繰越正味財産額	41,164,562	-45,278,577	28,702,254	-5,260,718	25,686,180	37,315,423	54,107,720	-22,684,979	5,892,682	
正味財産合計	44,737,696	-54,374,051	43,496,958	-5,458,215	24,714,102	36,358,902	56,519,452	-27,278,803	7,118,253	

貸借対照表

NPO法人きなはれ
全事業所

[税込] (単位: 円)
2025年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	9,505,207
現金	1,356,236	前受金	2,060,000
普通預金	17,633,392	預り金	710,321
定期預金	5,000,000	仮受金	2,000
現金・預金計	23,989,628	未払消費税	2,694,000
(売上債権)		流動負債計	14,971,528
未収金	8,226,632	【固定負債】	
売上債権計	8,226,632	長期借入金	95,320,000
(その他流動資産)		固定負債計	95,320,000
前払費用	1,686,770	負債合計	110,291,528
その他流動資産計	1,686,770	正 味 財 産 の 部	
流動資産合計	33,903,030	【正味財産】	
【固定資産】		前期繰越正味財産額	41,164,562
(有形固定資産)		当期正味財産増減額	3,573,134
土地	91,613,190	正味財産計	44,737,696
建物	10,410,523	正味財産合計	44,737,696
建物附属設備	13,166,461		
車両運搬具	1,373,311		
什器備品	3,602,099		
有形固定資産計	120,165,584		
(投資その他の資産)			
保証金	19,440		
敷金	763,200		
長期貸付金	149,450		
預託金	28,520		
投資その他の資産計	960,610		
固定資産合計	121,126,194		
資産合計	155,029,224	負債及び正味財産合計	155,029,224

財 産 目 録

NPO法人きなはれ
全事業所

[税込] (単位: 円)
2025年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	1,356,236
とねっと現金	(63,545)
本部現金	(813,513)
ヨベル現金	(479,178)
普通 預金	17,633,392
北洋南郷通:スカイ	(40,812)
北洋菊水:とねっと	(567,577)
北洋白石中央:ヨベル	(682,400)
北洋南郷通:本	(5,599,698)
北洋白石中央:本	(3,929,183)
北洋南郷通:サビ管	(6,813,722)
定期 預金	5,000,000
現金・預金 計	<u>23,989,628</u>

(売上債権)

未 収 金	8,226,632
売上債権 計	<u>8,226,632</u>

(その他流動資産)

前払 費用	1,686,770
その他流動資産 計	<u>1,686,770</u>

流動資産合計

33,903,030

【固定資産】

(有形固定資産)

土 地	91,613,190
建 物	10,410,523
建物附属設備	13,166,461
車両運搬具	1,373,311
什器 備品	3,602,099
有形固定資産 計	<u>120,165,584</u>

(投資その他の資産)

保 証 金	19,440
敷 金	763,200
長期貸付金	149,450
預 託 金	28,520
リサイクル預託金	(28,520)
投資その他の資産 計	<u>960,610</u>

固定資産合計

121,126,194

資産の部 合計

155,029,224

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	9,505,207
前 受 金	2,060,000
預 り 金	710,321
所得税	(△ 1,769)
社会保険料	(699,180)
交通費助成	(12,910)
仮 受 金	2,000
未払消費税	2,694,000
流動負債 計	<u>14,971,528</u>

【固定負債】

長期借入金	95,320,000
固定負債 計	<u>95,320,000</u>

負債の部 合計

95,320,000

110,291,528

正味財産

44,737,696

会計参考資料


長期借入金返済状況


借入先	2024.3末残高	2024年度返済額	2025.3残高
北洋銀行	51,596,000	3,936,000	47,660,000
保証協会	51,596,000	3,936,000	47,660,000
	103,192,000	7,872,000	95,320,000

監査報告

特定非営利活動法人きなはれの 2023（令和 5）年度の監査を実施した結果、事業および決算書について、各種帳票及び関係書類と照合の結果、適正かつ正確なものと認めます。

2024年 6月 4日

監事 八田達夫 

監事 高木 郁雄 

本部事業

2025(R7)年度は、NPO法人きなはれ全体として、以下の事業を行います。

1. 就労継続支援B型事業所 ヨベル運営
2. 就業・生活応援プラザ とねっと・地域生活支援センタージョイン運営
3. 白石障がい者就労センタースカイ(就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援事業)
4. 新規:就労選択支援事業(2025(R7)10月予定)
5. 北海道サービス管理責任者等養成研修・相談向け研修
6. 北海道相談支援専門員初任者研修

<そのほかの本部事業>

1. 福祉向上に関わる人材育成・研修

- * 法人研修の体系化を行っていきます。
 - ・全体研修
 - 2025.6.20 理念・運営等説明研修（オンライン）
 - 2026.2.6 虐待防止・身体拘束防止研修（集合）
 - ・新人、経験が少ない職員に対する研修
 - ・外部講師に依頼しての研修
- * 職員各自の自主研修促進
- * 職員一人一人の支援力が上がるための外部研修、各学会、研究会等での発表奨励
参考:2025.10.25-26 日本精神障害者リハビリテーション学会（大会長 池田理事）

2. 啓発活動

- * 地域活動への積極的参加
- * 3事業所における実習生の受入
- * 外部研修会、講演会などでの発表

3. 総会・理事会・虐待、身体拘束防止委員会

- * 総会 2025年6月28日(金) 白石区民センター *
- * 理事会・虐待、身体拘束防止委員会 必要に応じて 年数回

4. 新規事業 指定特定相談支援事業所開設(2026年度)に向けての準備を行います。

北海道サービス管理責任者等研修・相談支援専門員養成研修 事業

今年度は、北海道サービス管理責任者等研修を会場開催、オンライン研修、e-ラーニングの3つの方法で開催します。

1. 北海道サービス管理責任者等基礎研修
2. 同 実践研修
3. 同 更新研修
4. 同 専門別コース研修(就労・意思決定支援)
5. 北海道相談支援専門員 サービス管理責任者等向け研修
6. 北海道相談支援専門員研修(初任者研修)

総数 サビ児管研修(1680名)・向相談研修(1080名)・相談初任者研修(48名)

日程	研修内容(定員数)	相談(定員数)
2025年4月	基礎(60)・実践(60)	
2025年5月	就労(60)・実践(36)・更新(60)	向け相談支援(180)
2025年6月	基礎(60)・更新(36)・実践(60)	
2025年7月	基礎(60)・実践(36)	向け相談支援(180)
2025年8月	実践(96)・基礎(60)	
2025年9月	更新(60)・実践(36)・基礎(36)	向け相談支援(180)
2025年10月	基礎(96)・実践(60)・更新(36)	
2025年11月	実践(36)・基礎(36)・更新(60)	向け相談支援(180)・相談初任者研修前半(48)
2025年12月	基礎地方開催 釧路(60)・意思決定支援(60)・実践(60)	
2026年1月	実践(96)・更新(36)	向け相談支援(180)・相談初任者研修(中盤)(48)
2026年2月	更新(36)・基礎(96)・実践(60)	
2026年3月	実践(72)・更新(60)	向け相談支援(180)・相談初任者研修(後半)(48)

ヨベル 就労継続支援B型事業

本年も引き続き、障害者総合支援法に基づく、就労継続支援B型事業を行います。

【重点目標】

- A. 利用者ひとりひとりの障がい特性、実情にあったきめ細かな支援を行います。
- B. 関係機関と連携した就労支援・生活支援を行います。
- C. 「うれし部(仕事)」「楽し部(余暇活動)」「コミュニケーションプログラム」の活動を行います。
- D. 地域住民との触れ合いの場として café ヨベル、町内会活動を含めた地域活動を行います。
- E. 各種研修会参加などを通し、スタッフの支援力を向上させます。
- F. 町内会、商店街などの地域活動を継続します。
- G. 1日平均通所利用者数増加等により、経営の安定化を図り、安全・安心な運営を行います。
- H. 法令順守を意識し支援、運営を行います。

【運営体制と支援】

1. 事業体制・職員体制

主事業所:本通 4 丁目 ヨベル 従たる事業所:café ヨベル(ヨベル白石まちづくりハウス)の二か所で運営を行います。

昨年度所長、サービス管理責任者を兼務しておりましたが、サービス管理責任者を独立して 1 名配置します。また、新卒職員を 1 名採用しました。体制は、所長 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員2名、職業指導員3名(パート職員)です。

2. うれし部活動(仕事面)

事業所の内外で仕事を行います。事業所外の地域の方々となつなぎ、利用者の可能性を広げることに努めます。

- ① 法人支援の作業を行っていきます。(広報誌作成、HP 更新・サビ管研修会資料作成・サビ管研修会場清掃等)
- ② 事業所内作業として企業等からの請負作業、印刷
- ③ 事業所外作業としてバザー販売、お祭り出店、JR白石駅前花壇の美化
- ④ ヨベル白石まちづくりハウスにて カフェ事業。
- ⑤ 自主製品制作(手工芸製品、ダンピー(生ごみたい肥化セット))

3. 就労支援

- ①将来的に一般就労を望む利用者に対し、アセスメントを強化し、他機関との連携し、就労支援を行います。

4. 生活支援

- ① 病気や障がいにより生活に困難さを感じている利用者には、面接・訪問・同行などの支援を行います。
- ② 必要に応じて家族面談や医療機関・相談支援事業所等とのケース会議を持ち、情報の共有、役割の確認を通して支援体制を充実します。

5. プログラム

<コミュニケーションプログラム>

- ① 就労支援プログラム:一般就労を目指す利用者に向けて働くことを考えます。
- ② コミュニティミーティング 第1・2金曜日 決め事ミーティング 最終金曜日 自由に話すミーティング

<その他プログラム 楽し部活動（余暇活動）>

- ① ひとり一人のこんなことやりたい、楽しみたい、を大切に、少人数での余暇活動を開催していきます。
- ② 事業所の大きな行事をして、歓迎会、クリスマス会、誕生日会などを利用者とともに企画し開催します。

6.地域との関わり

地域の夏祭り、町内会の行事等に利用者と一緒に参加して、利用者の社会参加の機会を積極的に広げていきます。

7. 職員研修

法人内外における必要な研修に参加し、職員の資質向上に努めます。

8. 啓発

大学、専門学校より実習生、白石でっち奉公(白石区内中学生)、一般よりボランティアを受け入れます。

就業・生活応援プラザ とねっと 運営事業

〈事業計画〉

2025年度の就業・生活応援プラザとねっとは、就業・生活支援と就業継続支援を中心に活動を展開し、障がいのある方の支援を展開します。また、拠点事業として札幌市内の就業・生活相談事業所(就業・生活支援センター一合)の取りまとめや札幌市自立支援協議会就労支援推進部会の運営委員・事務局として研修や情報の共有化等を行っていきます。

さらに、障がいのある方の交流スペース「わーくカフェ ジョイン」にて働く障がいのある方の交流促進の活動展開し、「札幌市就業体験事業」の活動も進めていきます。

〈重点事項〉

2025年度 就業・生活応援プラザとねっとでは、

- ① 就業・生活相談事業では常に相談者の立場に立ち、また相談が円滑に進むように支援を行っていきます。
- ② ジョブサポーター事業においては、合理的配慮、障害者虐待防止を意識しつつ企業と、相談者それぞれの支援に立った支援を行います。
- ③ 生活支援に関しては、制度を活用した支援のみではなく、直接的な支援も意識・行動していきます。
- ④ わーくかふえジョイン活動を展開し、多くのメンバーが活用でき、充実した就業生活が営めるよう企画していきます。
- ⑤ 札幌市自立支援協議会就労支援推進部会の事務局として部会が円滑に進むよう努めます。

〈職員体制〉

2025年度職員体制に関しましては、7名(センター長1名・就労・生活支援員3名・プロモーター1名・ジョブサポーター1名、事務補助員1名)体制で行います。

〈就労支援事業〉

2025年度は①就業者個人個人の課題に応じた就労支援、②就業継続のための支援、③他機関と連携した就労・相談支援を行っていきます。また、支援にあたっては、合理的配慮、差別禁止法・虐待防止法を意識し、企業・相談者両方の視点に立って支援を行っていきます。

〈就労支援ネットワーク構築〉

ネットワーク構築では、「札幌市自立支援協議会就労支援推進部会」の活動を中心に、会場開催、zoomを活用した研修、会議を行います。

主な活動予定

- ・札幌市自立支援協議会就労支援推進部会 定例会(5月14日)
- ・8月1日:札幌市自立支援協議会就労支援推進部会研修「就労支援の今、これから(仮)」
- ・10月31日、1日:札幌市自立支援協議会就労支援推進部会・JC-NET 共催 『発達セミナー』
- ・10月:就業・生活相談支援事業所研修

他、札幌市自立支援協議会就労支援推進部会会議、就業・生活相談事業所連絡会議、ジョブサポーター会議の定期開催に関する運営

<生活支援事業>

2025 年度も、昨年と同様、関係機関と連携しながら、各種年金申請への動向や生活保護課への同行等、登録者への直接的な生活支援を継続して行います。

<とねっと相談支援目標数値>

2025 年度のとねっと相談支援目標数値としては、新規相談 200 件、新規登録者数 40 名、相談件数、3200 件、ジョブサポーター支援件数:230 件

<就業・体験事業>

2025 年度の実験事業に関しましては、前年度件数が上回るよう、福祉事業所に広報を周知し、また実習企業の数も増えるように、企業の開拓にも力を入れていきます。なお 2024 年度就業体験事業の目標は以下になります。

2025年度就業体験実習事業目標数

項目	2022 年度	2023 年度	2024 年度	平均数値	2025年度		
					目標数	前年度実績	前年度比
登録企業数	27	24	28	26.3	30	28	107.1
新規登録企業数	7	3	7	5.6	8	7	114.2
就業体験実習者数	32	41	37	36.6	39	37	105.4

算出方法:直近3ヶ年の平均数値を目標数とする。但し平均数値が2024年度実績を下廻った場合は2024年度実績数の105%を目標数とする。

<研究事業>

2025 年度の研究事業は、拠点事業の一環として札幌市自立支援協議会就労支援推進部会の方たちの協力のもとに、就労の事業所ガイドラインを作成に向けた協議をしていく予定です。

<地域活動支援事業(わーくカフェ ジョイン運営)>

2025 年度も昨年と同様、働く障がい者同士の交流の促進、当事者による当事者への支援を促進するための

場としてわーくカフェジョインの運営を行います。また、利用者の生活の幅が広がるよう様々な企画をしていきます。2025年度の計画としては以下になります。

4月	北海道博物館、鬼滅の刃展
5月	ドリフターズ展、歌川国芳展
6月	歓送迎会、円山動物園
7月	お好み焼き会、さとらんど BBQ、納涼会
8月	防災センター&スカイランチ、野球観戦、ロイズ&当別道の駅
9月	もちつき、ぶどう狩り、外食会
10月	月形樺戸博物館&道の駅つきがた、豊平峡もみじ狩り、カラオケ
11月	近代美術館ムーミン展、ボウリング大会、忘年会
12月	イルミネーション、クリスマス会
1月	もちつき、初詣&どんど焼き
2月	冬季のレク、雪まつり
3月	調理レク(うどん打ち)、青少年科学館またはサンピアザ水族館

※時期を検討しながら、カラオケ、ボウリング、チームラボ展など企画をします。

スタンプラリー散歩があれば実施予定

ジョイン利用人数目標:開所日 215 日、利用人数:1100 人

白石障がい者就労センタースカイ運営

2025年度は、昨年度から引き続き、障害者総合支援法による就労移行支援事業、就労継続支援B型事業・就労定着支援事業を実施いたします。

<スカイの理念>

「障がいがある人が社会で働くことを通じ、自分らしく豊かな人生を生きていくことを実現するために活動します。」

<スカイの目標>

1. 障がいがある人が、活動を通して、自分の将来に向き合える機会をつくること
2. 社会に障がいがある人が働ける場所をつくること

<目標を実現するための実践の指針>

メンバーに対し、以下の項目が実現できるよう事業を行い、支援します。

1. 集団生活を通じた自尊心・社会性の獲得
2. 自己理解・他者理解の学習
3. 社会的役割・責任の体験
4. 自分自身の健康と元気について考える場の提供

<運営体制と支援>

1. 職員体制

- ① 【スカイ】常勤正職員7名（うち1名本部兼任）・契約職員1名・パート1名
- ② 【サビ管事務局】契約職員1名・パート1名

2. 開所日・開所時間

- *スカイ開所日：月～土曜日 9:00～18:00 水曜 AM（プログラム・レクリエーション活動）
- *コミュニティキッチン ふいーる 営業時間：月～土 11:30～16:00

3. 事業内容

<事業所内支援>

- *コミュニティキッチンふいーるレストラン業務
- *下請等仕事（わらく堂他下請・ふあみくるボード製作・制服クリーニング・自主販売品の作成 等）
- *事務
- *在宅就労希望者への訓練機会の提供（必要に応じて実施）
- *各種プログラム

<事業所外支援・就労>

- * 白石区役所食堂食器洗浄業務
- * ベースクリエイト パン仕分け業務
- * 企業実習
- * 各種企業見学会・面接会への参加

<地域活動>

- * 東札幌2条町内会 やまびこ祭(8月3日出店参加予定)
- * 白石ネット 宿根草手入れ 継続参加
- * その他必要に応じて 参加

<プログラム>

- * ミーティング
- * 就労スタディ(就労に必要な知識学習の場)
- * WRAP(元気回復行動プラン)
- * ヒト・アップデートノート(対人関係を考えるプログラム)
- * SST
- * PC 講座(PCスキル向上)
- * レクリエーション(不定期開催)

<個別支援計画・アセスメント・モニタリング>

- * 就労アセスメント・B型アセスメント 強化(就労支援員中心)
- * 就労選択支援事業(2025年10月)に向けた環境面の見直し
- * 利用者支援の計画的実施(サービス管理責任者中心)
- * 効果的な個別支援計画策定及び見直し
- * 日常的なアセスメントと情報共有
- * 個別に適切な時期のモニタリング

<情報共有・業務効率化>

- * 全体会議・朝・夕ミーティングの要点化
- * 支援会議の視点強化(常盤野理事の参加)
- * 集客確保と訓練環境の改善に向けたふいーる(レストラン)会議
- * 記録システムの有効活用による業務効率化
- * LINEWORKSの有効活用

<定着支援事業>

- * 就職者(卒業生)の交流機会の場の提供
- * 必要に応じた個別相談、企業相談
- * 支援期間終了者へのフォローアップ

<安定運営>

- * 1日当たり平均利用者数目標 平均 移行 10名 B 6名
- * 関係各種機関への挨拶回り・情報提供
- * リワーク支援の学習
- * 広報・宣伝(ハローワーク・ナカポツセンター・医療関係・大学・高等支援学校・薬局等)

<啓発・教育>

実習生受入・各大学等における講義への参加・市民向啓発活動などへの参加

<ふいーる営業方針>

1. 季節食材を活かした栄養価ある食事提供
2. 季節感ある店内装飾
3. ニーズに合わせた受注(弁当・オードブルなど)
4. より良いレストラン運営のための会議(来客視点を考え、より良い営業を目指す)
5. 定期的なコストの見直しと価格設定
6. 節約意識の徹底・実践

【今年度の取り組み】

- ・昨年度の支援の反省点を踏まえ、職員全体で支援を基礎から見直し、チーム支援の意識を強化・実現していくことを目指します。
- ・プログラム内容の充実化を図り、より魅力ある活動となるよう学習・実現していきます。
- ・利用者確保に向けた活動を積極的に行い、安定した運営を意識してまいりたいと思います。

2025年度も宜しくお願い致します。

助法人きなはれ 2025年度 予算書(案)

(2025年4月1日～2026年3月31日)

科目	法人全体	本部	サビ管		ヨベル	とねっと	スカイ全体	スカイ移行	スカイB	スカイ	新規事業	
	予算額	予算額	予算額	サビ管予算額	相談予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	
収入の部												
委託金収入	31,945,000	0	0	0	0	0	31,945,000	0				
補助金収入	6,635,000	0	0	0	0	0	6,635,000	0				
総合支援法支援費収入	69,300,000	0	0	0	0	26,400,000	42,200,000	31,200,000	8,000,000	3,000,000	700,000	
利用者負担金収入	0	0	0	0	0	0	0					
作業収入	15,000,000	0	0	0	0	8,000,000	7,000,000	5,000,000	2,000,000	0		
受講料収入	45,880,000	0	45,880,000	34,000,000	11,880,000	0	0					
会費収入	100,000	100,000	0	0	0	0	0					
助成金収入	0	0	0	0	0	0	0					
寄付金(謝礼金)収入	370,000	0	0	0	0	200,000	100,000	70,000	50,000	20,000	0	
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0					
合計	169,230,000	100,000	45,880,000	34,000,000	11,880,000	34,600,000	38,680,000	49,270,000	36,250,000	10,020,000	3,000,000	700,000
支出の部												
職員給与	63,600,000	0	10,300,000	6,300,000	4,000,000	13,200,000	18,500,000	20,900,000	11,300,000	7,600,000	2,000,000	700,000
職員手当	14,000,000	0	1,800,000	1,800,000	0	2,700,000	4,500,000	5,000,000	3,800,000	1,200,000	0	
報償費	260,000	0	0	0	0	200,000	0	60,000	40,000	20,000	0	
報酬	12,230,000	30,000	11,800,000	11,000,000	800,000	0	400,000	0	0	0	0	
共済費	15,200,000	0	2,500,000	2,000,000	500,000	3,500,000	4,000,000	5,200,000	3,500,000	1,600,000	100,000	
福利厚生費	780,000	0	30,000	30,000	0	250,000	220,000	280,000	220,000	60,000	0	
人件費計	106,070,000	30,000	26,430,000	21,130,000	5,300,000	19,850,000	27,620,000	31,440,000	18,860,000	10,480,000	2,100,000	700,000
広告宣伝費	300,000	0	0	0	0	0	300,000	0	0	0	0	0
業務委託費	10,550,000	900,000	8,000,000	6,000,000	2,000,000	450,000	250,000	950,000	650,000	300,000	0	0
日用消耗費	450,000	0	0	0	0	0	150,000	300,000	200,000	100,000	0	0
教養娯楽費	180,000	0	0	0	0	0	0	180,000	120,000	60,000	0	0
旅費交通支援	2,700,000	0	400,000	300,000	100,000	600,000	1,000,000	700,000	500,000	200,000	0	0
車両費	2,270,000	0	50,000	50,000	0	720,000	400,000	1,100,000	800,000	300,000	0	0
作業関連支出費	12,000,000	0	0	0	0	6,200,000	0	5,800,000	4,000,000	1,800,000	0	0
通信運搬費	3,610,000	10,000	2,200,000	1,800,000	400,000	350,000	600,000	450,000	300,000	150,000	0	0
什器備品費	270,000	0	100,000	100,000	0	0	100,000	70,000	50,000	20,000	0	0
修繕費	200,000	0	0	0	0	0	50,000	150,000	100,000	50,000	0	0
水道光熱費	3,000,000	0	0	0	0	400,000	300,000	2,300,000	1,600,000	700,000	0	0
印刷製本費	1,250,000	0	0	0	0	600,000	200,000	450,000	300,000	150,000	0	0
賃借料	5,396,000	0	396,000	396,000	0	3,000,000	2,000,000	0	0	0	0	0
保険料	860,000	0	150,000	150,000	0	250,000	250,000	210,000	150,000	60,000	0	0
負担金	410,000	20,000	200,000	200,000	0	80,000	80,000	30,000	20,000	10,000	0	0
租税公課	6,923,000	6,000,000	13,000	13,000	0	50,000	10,000	850,000	600,000	250,000	0	0
研修費	1,255,000	5,000	700,000	500,000	200,000	100,000	300,000	150,000	100,000	50,000	0	0
支払手数料	350,000	50,000	150,000	100,000	50,000	30,000	10,000	110,000	80,000	30,000	0	0
事務消耗品費	570,000	0	500,000	300,000	200,000	0	10,000	60,000	50,000	10,000	0	0
札幌市補助事業費(ジョイン)	700,000	0	0	0	0	0	700,000	0	0	0	0	0
就業体験事業	400,000	0	0	0	0	0	400,000	0	0	0	0	0
減価償却分	7,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	1,800,000	600,000	2,600,000	2,000,000	600,000	0	0
支払利息	1,500,000	1,500,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費計	62,144,000	9,485,000	13,859,000	10,909,000	2,950,000	14,630,000	7,710,000	16,460,000	11,620,000	4,840,000	0	0
小計	168,214,000	9,515,000	40,289,000	32,039,000	8,250,000	34,480,000	35,330,000	47,900,000	30,480,000	15,320,000	2,100,000	700,000
当期正味財産増加額	1,016,000	-9,415,000	5,591,000	1,961,000	3,630,000	120,000	3,350,000	1,370,000	5,770,000	-5,300,000	900,000	0

2025年度 役員（理事）を以下とします。
特定非営利活動法人きなはれ

役名	氏名
理事(理事長)	廣田 英夫
理事(副理事長)	池田 望
理事	佐橋 克彦
理事	吉野 淳一
理事	木村 睦
理事	池田 望
理事	山根 英香
理事	崎山 雅範
理事	常盤野 晴子
理事	重泉 敏聖
理事	西町 祐哉
監事	高山 郁夫
監事	八田 達夫